

## 県勢高校生の

秋田市出身の佐藤貞直さん

## 熱い戦い応援



首都圏に住む本県出身者らでつくる秋田ふるさと応援団の発足時からメンバーで、理事の佐藤貞直さん(73)は写真(左)は秋田市出身。首都圏で開催される冬の高校スポーツの全国大会では毎年、県勢の応援に駆け付けている。

ふるさと応援団は2010年に発足。高校スポーツの全国大会で、メンバーがナマハゲに扮して応援席に登場するのはおなじみの光景だ。佐藤さんは秋田高校時代の仲間と誘われ、発足メンバーに名を連ねた。ナマハゲ役を務めたこともある。

最近では、18年度の全国高校サッカー選手権での秋田商業高校の8強入りが印象に残

っているという。「母校の垣根を越えて古里の高校生がはつらつとプレーする姿はうれ

しいもの。ふるさと応援団のおかげで友人の輪がどんどん広がった」と語る。

佐藤さんは高校時代、水泳部員だった。当時の秋田高は硬式野球部やラグビー部など運動部の全国大会での活躍が目覚ましく、「活躍する選手たちの存在が誇らしかった」と振り返る。

小樽商科大学(北海道)でラグビーを始め、フオワードとして活躍した。三菱重工に入社してからもラグビー部で社員選手としてプレー。30代で現役を引退した後も裏方としてチームを支えた。現在は

熱心なサポーターとして古巣の三菱重工相模原ダイナボアーズを支える。

先月には、リーグワンに所属する三菱重工相模原が1部下位チームとの入れ替え戦を制し、来季の1部昇格を決めた。センターの奈良望選手(25)は秋田工業高校(法政大)出身。はじめ本県出身。選手としての活躍も楽しみの一つ。来季もアウエー戦を含め応援に行くつもり。1部での活躍を待ちわびている。

首都圏にある秋田市内の高校同窓会などでつくる「けやき会」の会長も務める。さいたま市住。

(伊藤正孝)